

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



みんなで土でいろいろ作って楽しそう!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

日本では、少し落ち着きを見せてきた感のあるコロナ渦ですが、すでに次の感染拡大時期が予想されている等、終息にはまだ時間がかかりそうです。

世界に目を向けても、同様に、終息などほど遠い感が強いようです。このような状況の中、カンボジア孤児院では先日、同孤児院を巣立って行った数名が、日用品、医療品などを孤児院に届けてくれたそうです。

この知らせを受け、同孤児院の子供達、人としてしっかりと育てていたことを知らされ本当に喜びました。

日本では「衣食足りて礼節を知る」という諺がありますが、彼らが衣食足りることができたのは正に皆様の御支援故であります。

本当に感謝申し上げます。

皆様の助けによって、孤児院の子供達は本当の意味で成長しています。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒宜しくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。9月中旬頃から、政府機関のコロナ対策チェックを受けた学校が次々に再開し始めると共に、数日後には幾つかの学校で陽性者が出たというニュースが流れました。中旬過ぎ頃には、子ども達が学んでいるM校から中高生クラスのみ再開するという連絡がありました。子ども達は再開を喜んでいますが、私達は感染の事が気になりながらも数日間通った後、M校でも陽性者が出てしまいました。学校側からの指示でクラスによっては2週間の休みになり、10月初めは祭日が続いてしばらく学校には行かなくてもよい状況にも助けられて、体調を崩す子ども達もなく元気に過ごすことが出来ました。カンボジアでは6歳からのワクチン接種も始まっており、全学年再開を目指して対応が行われているようです。特に小さな子ども達にとってはまだあちこち出掛けられない状況が続いていますので、10月の連休の時は子ども達のリクエストでスペシャルメニューにして楽しく過ごすことが出来ました。コロナ禍の中で、皆様からの温かいご支援の数々に心から感謝しています。



ココナツの実を収穫

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様の暖かいご支援を心から感謝致します。今年の世界教師日は、歌や踊りや先生へのプレゼントも無く、今までとは違うものになりました。教育省の方々のご尽力によって、9月13日から新しい学年の授業がオンラインとモジュールで始まりました。子どもたちの安全を第一に考えてのことですし、保護者は子どもたちを近くで見守ることが出来るので、個人的には、この教育体制が続くことを願っています。しかし最近、各学校では保護者に対し「子どもたちが学校で直接授業を受けることを許容するか?」という調査を始めました。大統領は100校で試験的に授業をすることを承認しました。就学支援生の中には、学校で授業を受けるのをとても楽しみにしている子どもたちもいますが、そうで無い子どもたちもいます。何故なら毎日お風呂に入ったり、毎朝早く起きて急いで出かけなければならないからです。オンラインとモジュールの授業でも学用品等の必要があります。この為にも皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



以前(3年前)就学支援生たちとマクドナルドに行った時の様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアはほぼ普通の日常を取り戻し、3学期を迎えて子ども達も元気に登校して来ています。この1年でメキメキと実力を付けた11人の生徒達のために、中学1年生になるための試験を受ける準備を、今後一年かけて進めていきます。入学した時には3~5年生レベルだったことを考えると、本当に嬉しい限りです。年齢にそぐわない低学年に在籍し続ける事は、子ども達のモチベーションの低下に繋がるため、是非頑張りたいと思っています。学校校舎の改築・増築に変更があり、赤字経営だった養鶏を完全にやめて、その建物をクラスルームに改築する事にしました。製粉場は取り壊し、幼稚部のための教室を建設します。その為の経済がまだまだ不足していますので、どうぞ引き続きご支援お願い致します。手続きを進めている新しい土地は、近くを川が流れ、野菜畑が広がるとても美しい場所です。来年には建設を進める事が出来る事を希望しています。



学校建設予定地

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

先月末頃からスーパーの店頭にも、年末のお菓子パネトーネが並ぶようになりました。去年クリスマスプレゼントをあげた児童養護施設の方Tさんに、また連絡を取ってみました。現在は施設に住んでいる子供たちはいないようで、シングルマザーの育児支援を行っていて、62人の子供たちを支援しているそうです。ブラジルでは連邦政府レベルの法律で世界的に優れていると言われる児童憲章によって、年々児童養護施設に対する厳しい法規制がなされるようになりました。2017年からさらに厳しく法改正され、子供が施設内に留まることが可能な期間が18か月と定められました。その期間内に裁判所が一番近い親族を探し、子供の親権を渡すことになります。法改正当時Tさんは「法律は法律、現実には現実」とおっしゃっていましたが、私が訪問したことのある、アラサトゥーバ市内にあった別の児童養護施設も、保育園にされてしまいました。この中でなすべき活動をしていけますように、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



クリスマスプレゼントの準備をする松本スタッフ